

活動報告

秋を感じながら名護城公園を歩こう
自主事業 **ノルディックウォーク講座**

名護青少年の家の自主事業「ノルディックウォーク講座」の第2回目を10月25日に行い、県内外から老若男女24名の方々が参加しました。



ウォーキング♪

この事業は、講習を通してノルディックウォークの知識と技能を深めるとともに、実際に名護城公園内の遊歩道を歩き、豊かな自然を感じながら健康増進の一助を担う目的で年間を通して実施しています。参加者へアンケートを実施したところ、「緑を見ながらアップダウンのある道を歩くことができ楽しかったです」や、「森林浴したり専門の方のお話を聞きながらすごしかったです」との声が聞けました。



初心者向け講習の様子

担当からのコメント

前日までの悪天候が嘘のような晴れ渡った秋空の下、ノルディックウォークができました♪少々アップダウンのきついコースでしたが、みなさん楽しんでおられたようで良かったです。次回は3月を予定しておりますので、お楽しみに!!
担当 狩俣

業務時間/8:30~17:30

施設案内

休所日:毎週月曜日
(月曜日が祝日の場合、その翌日)

どんな施設なの?

社会教育の振興に資することを目的に設置された施設です。

誰でも利用できるの?

2名以上の団体なら、家族でもサークルでも、企業や職場の仲間でも誰でも利用できます。

何ができるの?

団体宿泊訓練 各種研修

自然体験活動

ワークショップ 野外プログラム スポーツ

設備は?

キャンプ場 運動広場 天体観測デッキ

ハイキング・登山コース

浴室 食堂 体育館

研修室

宿泊室 講堂

どこにあるの?

名護市街から 1.6 km



発行 2015年(平成27年) 11月1日(日)



名護市名護5511
TEL : 0980-52-2076 FAX : 0980-52-3082
http://www.opnyc.jp/



指定管理者 一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation

ブログ
も見てね!
QRコード



http://www.opnyc.jp/
スタッフブログ /



H27.10.31
「ハロウィンパーティー」

活動報告

自主事業 **オータムキャンプ**

名護青少年の家では10月10日(土)~11日(日)の一泊二日で自主事業『オータムキャンプ』を実施し、県内から10家族が参加して秋の名護岳を楽しみました。

初日はあいにくの雨模様で体育館内にテントを設営しての宿泊となりましたが、紙パックランタン作りやローストチキンを作っ



お母さんと野外炊飯

たり、二日目は天気も回復しハイキングをしたりと家族でゆったり秋のキャンプを楽しんでいました。

参加者からは、「工作とか山登りやお料理が楽しかった。山登りではドングリを見つけてうれしかった」や、「大自然の中を探検できた事がよかった。」という意見をいただきました。



家族でテントを建ててみよう

担当からのコメント

今回のオータムキャンプをきっかけに家族で外遊びの楽しさを知るきっかけになってくれたらと思います。プログラムを作りました。残念ながら雨の影響でテントが体育館での設営となりましたが2日目は雨が降ることはなく秋の自然を感じながらハイキングを楽しめたのではないのでしょうか。参加された皆様ありがとうございました。また名護青少年の家にあそびにきてくださいね。
担当 宮里

今月の名護岳 「タイワンホトトギス」

台湾杜鵑草
ユリ科 ホトトギス属



茎先で枝分かれし、そこにやや小形の花が上向きにたくさんつく。花被片は6枚で色は淡い紅色、赤紫色の斑点が入る。名前の由来は斑点のある花びらが、鳥のホトトギスのおなかにある模様と似ているためだといわれている。花は9~11月頃に見られます。

写真は名護城神社の周辺で撮影されたものです。

参考資料: みんなの花図鑑

自主事業 名護青少年の家「防災キャンプ」

名護青少年の家の自主事業「防災キャンプ」を10月17日～18日に開催し、名護市少年消防クラブの団員25名が参加しました。

この事業は名護市消防本部と連携して、防災意識の向上並びに被災時に役立つスキルを習得するプログラムです。

名護市消防本部の職員が講師になり、部屋を無害な煙で充満させて、火災現場を疑似体験する「煙体験」や「ロープワーク」等を学びました。



煙体験の様子



ロープワーク講習の様子

また、青少年の家職員からは、火おこし器を使用した火のおこし方や、鍋を使わないお米の炊き方等を実際に野外炊飯を通して学び、二日目は人命救助の方法や消火器の使用法、そしてハシゴ車の試乗等、参加者は多くの体験ができた2日間でした。

担当からのコメント

今年初の試みということもあり様々なハプニング(笑)もありましたが、無事に終わることができて良かったです。今回のキャンプで学んだことは時々復習して、周りの友達や大人たちに教えることで防災意識を高めてもらえればと思います。

担当 狩俣

ハロウィンをみんなで楽しもう

近年、日本でも定番のイベントの一つになってきました「ハロウィン」。ここ名護青少年の家でも10月31日(土)に、「ハロウィンをみんなで楽しもう」を開催し、多くの親子連れが来場しました。



おねむのウィッチ

大人気のダンボール迷路には多くの親子がこぞって挑戦するも、怖くて途中で泣き出す子もいたり大盛況でした。

仮装大会は高レベルの争いとなり2位が3組も出る大接戦となりました。ハロウィンメイク講座はボランティアスタッフの大学生が子ども達にメイクをして、可愛いものからリアルな傷口あるゾンビメイクの子供たちが親子で写真撮影に興じていました。



どんなメイクになるのかな?

担当からのコメント

たくさんの来場ありがとうございました。仮装大会は大盛り上がりで、子ども達のレベルの高い仮装に驚きました。今後も、季節のイベントを開催していきたいと思いますのでご期待ください。

担当 興儀

主催事業「食と身体づくり」関連イベント

「鶏をまるごと調理して食べよう」

名護青少年の家の主催事業「食と身体づくり-鶏をまるごと調理して食べよう-」を10月4日に開催しました。

この事業は、沖縄県産の食材を使用して野外炊飯にて調理する体験を通じて、食文化や県産の食材に関心を深める目的で実施した食育プログラムです。



北農生による鶏解体



うまく調理できるかな?

担当からのコメント

今回は県立北部農林高校と、食育に関しての初めてのコラボレーション企画でした。協力してくれた生徒たちは心配を見事に吹き飛ばしてくれました。次につながるよう頑張ります。参加の皆さんありがとうございました。

担当 坂下

今回は県立北部農林高校の生徒が講師となり、鶏についての解説や鶏の解体を実演して、参加者と一緒にローストチキンやスープを作って舌鼓を打ちました。

参加者からは、「めったにニワトリ一羽を調理することがないので、良い経験になった。特に子どもにはどうやってニワトリが鶏肉になるか印象に残ったと思う」という意見をいただきました。

やんばるの生態を学ぼう

やんばるの植物たち

名護青少年の家の主催事業「やんばるの生態を学ぼう」を10月17日に開催し、県内から多くの方が参加しました。

この事業は毎年開催している人気事業の一つで、沖縄美ら島財団の阿部篤志氏を講師に招き、名護岳を散策しながらやんばるに生育している植物に理解を深めるプログラムです。



まずは講義で予習



フィールドワークで実物を見る!!

担当からのコメント

専門家を講師に迎える本格的植物観察を「名護岳登山コース」で行いました。登山経験のある方のみご案内としたため、参加者数が心配されましたが、定員に達して貴重な機会を共有することができて良かったです。皆さんありがとうございました。

担当 坂下

参加者からは、「植物についての細かい説明があり、コース、距離もとても良いと感心しました」や、「情熱的な阿部先生の説明が楽しく、運動量的にもちょうど良いくらいの感じでした」という意見をいただきました。